

iCruise



AQUA EXPEDITIONS

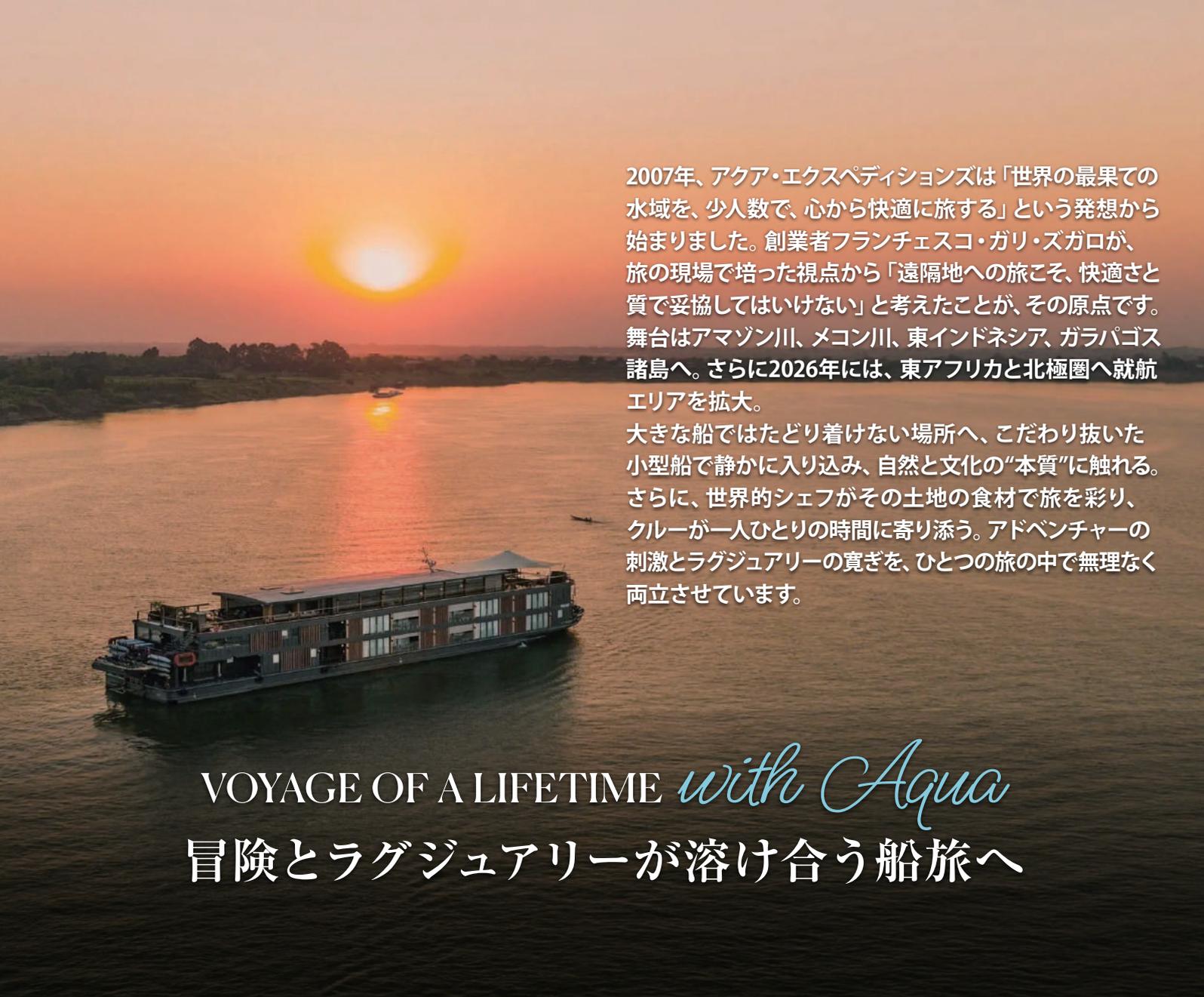
アクア・エクスペディションズ

冒険とラグジュアリーが溶け合う船旅へ



アマゾン川 | メコン川 | 東インドネシア | ガラパゴス諸島 | 東アフリカ | 北極圏



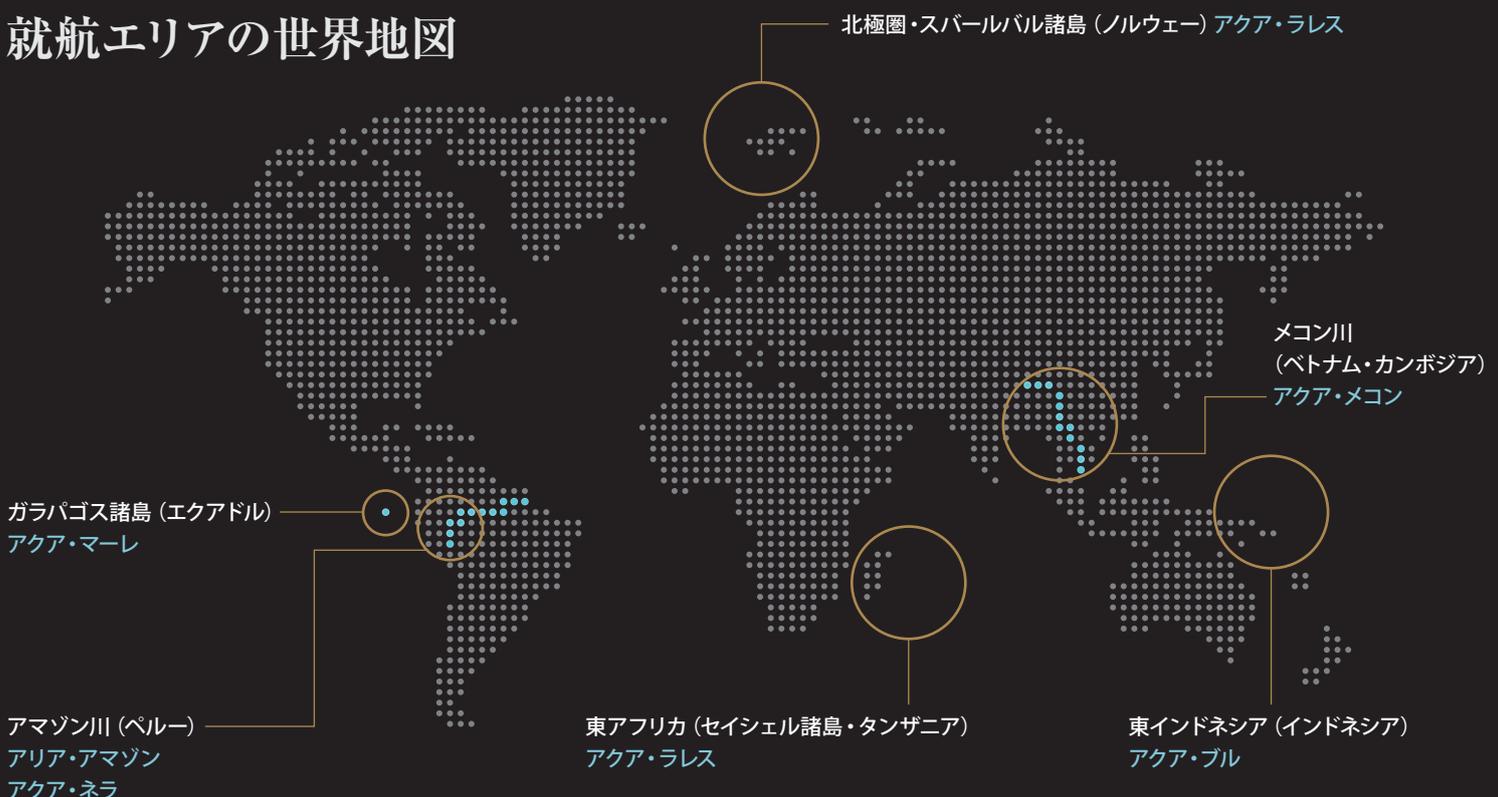


2007年、アクア・エクスペディションズは「世界の最果ての水域を、少人数で、心から快適に旅する」という発想から始まりました。創業者フランチェスコ・ガリ・ズガロが、旅の現場で培った視点から「遠隔地への旅こそ、快適さと質で妥協してはいけない」と考えたことが、その原点です。舞台はアマゾン川、メコン川、東インドネシア、ガラパゴス諸島へ。さらに2026年には、東アフリカと北極圏へ就航エリアを拡大。

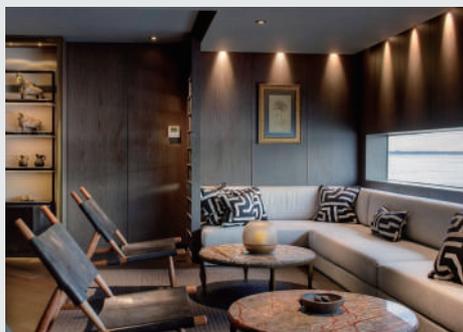
大きな船ではたどり着けない場所へ、こだわり抜いた小型船で静かに入り込み、自然と文化の“本質”に触れる。さらに、世界的シェフがその土地の食材で旅を彩り、クルーが一人ひとりの時間に寄り添う。アドベンチャーの刺激とラグジュアリーの寛ぎを、ひとつの旅の中で無理なく両立させています。

VOYAGE OF A LIFETIME *with Aqua* 冒険とラグジュアリーが溶け合う船旅へ

就航エリアの世界地図



秘境でのアドベンチャーを、 世界水準のラグジュアリーで包み込む



コンテンポラリー デザインDesign
 秘境の一日の終わりに戻る場所まで、美しく
 秘境でアドベンチャーを重ねたあと、戻る場所まで
 美しくあるべきだ。Aqua Expeditionsはそう考えます。
 船は単なる移動手段ではなく、旅の余韻を深め、
 次の体験へ心身を整えるためのラグジュアリーな
 滞在空間。遠隔地の旅ほど「快適さと質で妥協
 しない」姿勢が、船内の佇まいとディテールに宿り
 ます。



その土地の本質を、空間に宿す
 寄港地の歴史・芸術・文化を、現地調達のアパ
 リックや洗練素材、特注の磁器、アートピースに
 落とし込み、空間そのものに土地の空気感を
 纏わせず。Cor D. Rover/Jordi Puig/Studio
 Noorらが、ゲスト・エクスペリエンス・ディレクター
 Birgit Galli Zugaro と協働し、キャビンからソー
 シャルスペースまで、モダンラグジュアリーと快適性を
 軸に設計しています。



“余白”があること。それ自体が贅沢
 ゆとりあるキャビンはAquaのシグネチャー。リバー
 客船は川に面したスイートと床から天井までの
 パノラマウィンドウで、アドベンチャーの合間に
 深く整う理想のリトリートに。少室数だからこそ
 叶う“ブティック感”と、ジャグジー、スパ、屋内外
 ラウンジ、ゲームルームなど多彩なソーシャルス
 ペースが、船上時間を豊かにします。



パーソナライズされたサービス
 世界で最も遠い場所でも、
 “あなた仕様”のラグジュアリーを
 秘境でのアドベンチャーを、余韻まで美しく仕立
 てるAquaのDNAは、テーラーメイドで誠実なサー
 ビスです。レシビの共有、映画ナイトの手配、静かな
 日のスパアレンジ……。細部の気配りが旅の質を
 引き上げます。



**乗る前から“お名前”を知っている、
 という贅沢**
 船は16~40名の少人数制、さらにクルー：ゲスト
 =1:1。ラグジュアリーとは「名前と呼ばれる距離
 感」から生まれる。Aquaはその価値を知っています。
 乗船前からゲストを把握し、体力・興味・その日の
 気分に合わせて過ごし方を整え、ダイニングも
 地域に着想を得たメニューをベースに、嗜好や
 食事制限に応じて柔軟に調整します。



**動く日も、休む日も。
 旅を“こうあるべき”で縛らない**
 アクティブに体験する日も、穏やかに景色へ没入
 する日も。船上でカクテルとスパを楽しみ、静かに
 整える選択も。Aquaは旅を、あなたの望む形に
 仕立てます。

世界が認めたデザインと体験品質



Top 3 Best River Cruise, 2023, 2024, 2025
 #2 Best Intimate-Ship Cruise Line, 2025



#1 Cruisers' Choice Cruise Line
 (Expeditions Category)

Winner - Best Service
 (Expedition Category)



Winner - Luxury Expedition Cruise Brand
 Winner - Luxury Ocean Cruise Brand



Best of the Best 2026 Travel, Experiences &
 Hospitality Edition — Spectacular Cruise
 Journeys

世界的に著名なシェフが手がける、 美食の航海

すべての探検航海で、
目的地の文化と自然に着想を得た独創的なメニューを。

冒険心をくすぐる食の旅

Aqua Expeditionsでは、受賞歴あるシェフたちとともに、船上体験を“食”で完成させます。料理は目的地ごとの個性に忠実で、新鮮な現地食材を使用。嗜好や食事制限にも柔軟に対応し、誰もがその土地ならではの味覚を楽しめます。航海中はシェフによるクッキングデモや、シェフと巡るガイド付きマーケット訪問の機会も。



ほかにない、食のアドベンチャー



■東アフリカ (セイシェル・タンザニア) / 北極圏

ミシュラン星付きシェフ カリメ・ロペスが、最新のラグジュアリー探検ヨット Aqua Lares (アクア・ラレス) で料理を監修。航海する地域に着想を得て、地中海の要素×沿岸クレオール風味をバランスよく融合。現地食材を活かし、Aquaが掲げるサステナビリティの姿勢も体現します。シーフードを軸に、スパイス香る肉料理やクレオールの味覚、さらに洗練されたパスタ料理などがハイライトです。



■アマゾン川・ガラパゴス諸島

“レインフォレスト・トゥ・テーブル (熱帯雨林から食卓へ)”の先駆者として知られるペドロ・ミゲル・スキアフィーノが、ガラパゴスとアマゾン航海のメニューを担当。

Aqua Mare (アクア・マーレ) では、劇的な景観に呼応する体験を**ペルーのニッケイ (日本×ペルー)**スタイルで表現。Aqua Nera (アクア・ネラ) / Aria Amazon (アリア・アマゾン) では、アマゾン固有の食材を用い、“熱帯雨林から食卓へ”の思想のもとでペルー料理の魅力を引き出します。

世界が認めるシェフ陣



■東インドネシア

Aqua Blu (アクア・ブル) では、オーストラリア人シェフ ベンジャミン・クロスが、インドネシアが誇る“海の香辛料交易ルート”に連なる多彩な風味を現代的に表現。インドネシア料理に加えてヨーロッパ/地中海の要素も取り入れ、持続可能な方法で調達したシーフードと現地農産物で料理を仕立てます。



■メコン川

Aqua Mekong (アクア・メコン) では、ミシュラン星付きシェフ デイヴィッド・トンプソンが、ベトナムとカンボジアの味覚を幅広く探訪するメニューを構成。ファインダイニングや船上デモに加え、シェフと市場へ出向き、その日の食材を選び抜く体験も用意されています。ココナッツ、レモングラス、コリアンダー、ターメリックなどの香りを軸に、“創造的でありながら本格的”な季節メニューを展開。料理の一部は地域の習慣に沿った**コミュニケーション (大皿で分かち合う)**スタイルで提供されます。

野生と文化の“本質”に触れる、アドベンチャー。

Aqua Expeditionsが向かうのは、地図の端にある水域。大きな船では辿り着けない場所へ、小型船で静かに入り込みます。そこで待っているのは、野生動物との出会いと、土地に根づく暮らしや歴史・・・旅の核心に触れる体験です。



Into the Wild | 野生動物との出会い

インドネシアのコモドドラゴン、メコンのバードウォッチング、ペルー・アマゾンのカイマン、ガラパゴスの固有種、セイシエルの巨大ゾウガメ、北極圏のホッキョクグマまで。

“見る”だけでは終わらない距離で、自然の息づかいを感じます。



Active Adventure | 動いて、没入する

泳ぐ、漕ぐ、歩く、潜る。ガラパゴスで海へ、セイシエルでシュノーケル、アマゾンで水に親しみ、北極圏では氷のフィヨルドを進む。

ハイク、バイク、スイム、カヤック、スキフでの上陸・・・体験の選択肢が、あなたを“その場所の中心”へ連れていきます。



Heritage & Culture | 土地の物語に触れる

メコンの水上集落や川辺の職人、アマゾンの川と共に生きる人々、東インドネシアの部族文化、歴史の痕跡が残る要塞、スヴァールバルの捕鯨史、ザンジバルの香辛料交易。

観光名所をなぞるのではなく、土地の背景に分け入る・・・Aquaは“文化の深度”まで旅に組み込みます。



Expert-Led | 少人数だから叶う、密度

地域を知り尽くしたローカルの専門ガイドがリードし、少人数で体験します。一つひとつの景色や出会いが“理解”に変わるとき、旅は単なる移動ではなく、記憶として定着します。

船をまるごとチャーター、プライベートという究極の贅沢。

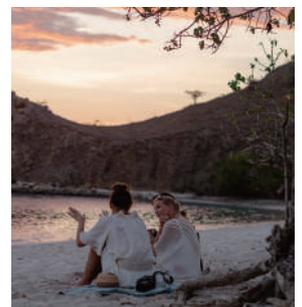
アクア・エクスペディションズのプライベート・チャーター（貸切）は、少人数のグループでも現実的に検討できる“貸切の探検航海”。船まるごとが自分たちだけの空間になるから、趣味仲間や家族旅行はもちろん、社員旅行・報奨旅行、小規模MICEにも最適です。過ごし方もペースも“あなた仕様”。外界から切り離された静けさの中で、プライバシーと特別な一体感が生まれます。

■こんな用途に

家族旅行・グループ旅行／記念日旅行／社員旅行・報奨旅行／キックオフミーティング・小規模MICE

■iCruiseがトータル手配

航空券・ホテル・送迎まで一括
専属添乗員／iCruise専任日本人コーディネーターの乗船も相談可
※お見積りはお問い合わせください（時期・航路・人数により変動）。



アマゾン川 (ペルー)

源流域に分け入るラグジュアリー体験

向かうのは、アマゾン川の

誕生の地——ウカヤリ川とマラニョン川の合流域、パカヤ・サミア国立保護区の最も手つかずの領域です。

拠点はペルー北東部の都市イキトス。スキフ(小型ボート)で入り組んだ水路へ分け入り、野生動物を探しにいきます。早朝から夜まで、時間帯で表情が変わる森を、1日2回の探検で確かめられます。

ピンクイルカ、カイマン、ナマケモノ、サル、リス、そして色鮮やかな鳥たち——出会いは自然次第——それでも会いに行けるフィールドがすぐそこにあります。

探検のあとは船上で心身を休め、翌日また、さらに奥へ。アマゾンを実感したい、でも滞在の質は保ちたい。その両方を、ここで叶えます。

就航客船

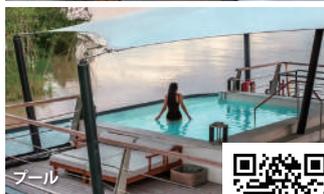
AQUA NERA

■アクア・ネラ

就航年月: 2021年7月
総トン数: 700トン
全長/全幅: 62.4メートル/11.5メートル
乗客/乗組員数: 40名/40名
船籍: ペルー



デザインスイート (約30m²)

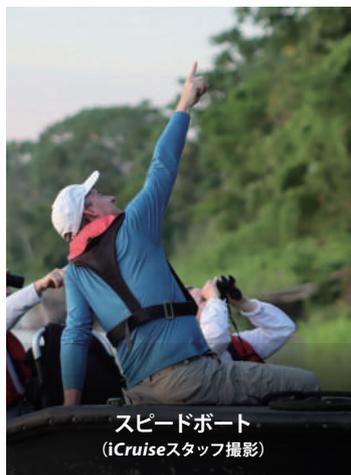


プール

客船の詳細はQRコードで>



体験・アクティビティ



スピードボート
(iCruiseスタッフ撮影)



野生動物観察
(iCruiseスタッフ撮影)

ARIA AMAZON

■アリア・アマゾン

就航年月: 2011年4月
総トン数: 500トン
全長/全幅: 45メートル/9メートル
乗客/乗組員数: 32名/26名
船籍: ペルー



デザインスイート (約23m²)



ダイニング

客船の詳細はQRコードで>



カヤック
(iCruiseスタッフ撮影)



フィッシング
(iCruiseスタッフ撮影)



iCruiseスタッフ撮影



■ 運航時期：通年

6月～11月頃 ローウォーターシーズン／12月～5月頃 ハイウォーターシーズン

■ コース：3泊／4泊／7泊コース

3泊／4泊／7泊はいずれもパカヤ＝サミア国立保護区（周辺水域）を中心に巡ります。基本エリアは共通で、日数が長いほど支流・湖沼まで探検範囲が広がり、体験密度も高まります。ローウォーターシーズンはトレイル散歩で「徒歩で出会う」野生動物観察、ハイウォーターシーズンは冠水林へ分け入るスピードボート「水上から迫る」観察が魅力です。

■ クルーズ代金（2026年）

| | 3泊 | 4泊 | 7泊 |
|----------|------------|------------|-------------|
| アリア・アマゾン | US\$3,750～ | US\$5,000～ | US\$8,330～ |
| アクア・ネラ | US\$5,130～ | US\$6,840～ | US\$11,340～ |

※早期申込割引・シングル乗船優遇（通常25%増）プロモーションあり。

※1室2名利用時のお一人様代金

■ 日本からのアクセスと推奨フライト

玄関口はペルー・イキトス。日本からリマで乗り継ぎ、イキトスへ向かうのが一般的です。下記推奨フライトを利用する場合は、イキトス空港⇄港間の無料グループ送迎を利用可能です。

<推奨フライト（2026年3月現在）>

| | | |
|------------------|-------------|-------------|
| 往路： ラタム航空 LA2019 | リマ 11:40発 | イキトス 13:30着 |
| 復路： ラタム航空 LA2038 | イキトス 14:10発 | リマ 15:55着 |



iCruiseスタッフ撮影

メコン川 (カンボジア/ベトナム)

アジアの奥行きを、静かに味わう



メコンは「田舎の川」という一言では語れず、クメール帝国の痕跡と、デルタの暮らしが一本の水脈でつながる場所です。見どころが凝縮したカンボジア/ベトナム区間に絞って航行し、水上集落へカヤックで入ったり、歴史ある仏教寺院を訪ねたり、田園をサイクリングして王朝の記憶に触れたり、「川沿いの生活圏」に少人数で入り込みます。さらに、メコン川で唯一の専用スピードボートを持ち、沖合の上陸やデルタ探訪を機動力で支えます。

ヌール・デザイン氏による現代的なデザイン、フルレンジ窓のスイート、スパ/ジム/リバービューのプランジプール。食はミシュラン星付きシェフ デビット・トンプソン氏が監修し、「動いて深く見て、戻って快適に整える」——メコンという舞台で、1つの体験として完成します。

就航客船



■アクア・メコン

就航年月： 2014年8月
総トン数： 700トン
全長/全幅： 62.4メートル/11.5メートル
乗客/乗組員数： 40名/40名
船籍： カンボジア



デザインスイート (約30m²)



ラウンジ

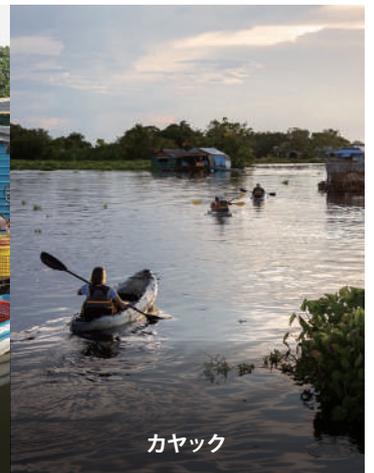
客船の詳細はQRコードで>



体験・アクティビティ



水上生活



カヤック



テンドーツアー



サイクリング



■ 運航時期：通年

12月～8月頃 ローウォーターシーズン／9月～11月頃 ハイウォーターシーズン

■ クルーズ代金 (2026年)

| | 3泊 | 4泊 | 7泊 |
|---------|------------|------------|-------------|
| アクア・メコン | US\$4,800～ | US\$6,400～ | US\$10,570～ |

※早期申込割引・シングル乗船優遇 (通常25%増) プロモーションあり。 ※1室2名利用時のお一人様代金

■ コース：3泊／4泊／7泊コース

| | 通年 | ローウォーター | ハイウォーター |
|----|----------------------|----------------|----------------|
| 3泊 | ①プノンペン～ミトー/ホーチミン | ⑤プノンペン発着 (*) | ②プノンペン～シェムリアップ |
| 4泊 | ③ミトー/ホーチミン～プノンペン (*) | ⑥プノンペン発着 (*) | ④シェムリアップ～プノンペン |
| 7泊 | — | ③+⑤または⑥+①の連続乗船 | ③+②または④+①の連続乗船 |

■ 日本からのアクセスと推奨フライト

玄関口はベトナムのホーチミン (乗下船港はミトー)、カンボジア・プノンペンまたはシェムリアップです。コースにより、下記のグループ送迎・航空券 (エコノミークラス) がクルーズ代金に含まれます。

| | |
|------------|------------------------------------|
| 上記①③を含むコース | ホーチミン⇄ミトー間片道送迎 (ホーチミン市内ホテル集合・解散) |
| 上記②④を含むコース | シェムリアップ⇄港間片道送迎 (シェムリアップ市内ホテル集合・解散) |
| 上記③④⑤⑥コース | プノンペン港⇄プノンペン空港間片道送迎 |
| 上記*印を含むコース | プノンペン空港⇄シェムリアップ空港片道航空券 |

東インドネシア (インドネシア)

世界屈指のシュノーケル& ダイビング海域 探検航海

「バリ&コモド国立公園」「スパイス諸島」「ラジャ・アンパット&西パプア」「未踏に近いアスマット」をつないで、世界屈指のシュノーケル/ダイビング海域と、ビーチ・滝・火山・文化遺産まで一度に味わえるよう設計されています。海では色彩豊かなサンゴ礁や魚群に加え、運が良ければマンタ、ウミガメ、イルカ、リーフシャークに出会えます。陸ではコモドドラゴン観察、早朝ハイクで極楽鳥に会い、熱帯雨林の川を進んで隠れ滝へ向かう日も。さらにスパイス諸島では香辛料交易の歴史が残る島々や要塞を訪ね、アスマットでは西パプアの文化圏に触れる——“海だけでは終わらない”体験が一続きになります。

就航客船



■アクア・ブル

就航年月： 1968年1月
(2019年11月全面改装)
総トン数： 1,140トン
全長/全幅： 60メートル/11.4メートル
乗客/乗組員数： 30名/25名
船籍： インドネシア



カテゴリ3 (約12~14m²)



デッキ

客船の詳細はQRコードで>



体験・アクティビティ



シュノーケル



ダイビング



トレッキング



カリ・ビル (ラジャ・アンパット)



■ 運航時期：通年

(時期により運航エリアが異なります)

■ コース

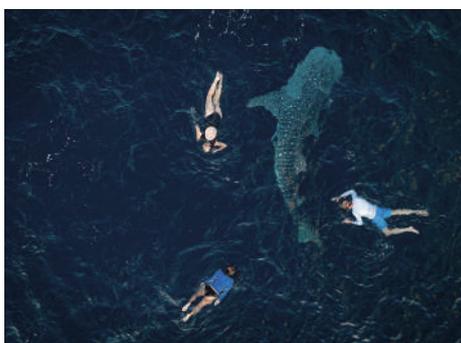
| | |
|-----------|----------------|
| ①4月～10月頃 | バリ～コモド国立公園 |
| ②10月～11月頃 | スパイスアイランド、西パプア |
| ③12月～3月頃 | ラジャ・アンパット、西パプア |

■ クルーズ代金 (2026年)

| | | |
|--------|----|-------------|
| アクア・ブル | 7泊 | US\$10,220～ |
|--------|----|-------------|

※早期申込割引・シングル乗船優遇 (通常25%増) プロモーションあり。

※1室2名利用時のお一人様代金



■ 日本からのアクセスと推奨フライト

日本からは直行便またはアジア都市乗継でバリ島 (デンパサール) またはジャカルタへ行き、旅程に合わせて国内線で移動します。早朝便や国内線の遅延に備えて前泊・後泊するのが安心です。

| | | | | |
|----------------------|---------------------------------|--------|---------|--------|
| ①ラブアンバジョ乗船の場合 | 空港到着後、乗船港まで無料のグループ送迎をご利用いただけます。 | | | |
| ①ラブアンバジョ下船の場合 | 下船後、空港まで無料のグループ送迎をご利用いただけます。 | | | |
| ＜推奨フライト (2026年3月現在)＞ | | | | |
| 往路：パティック航空 ID6331 | デンパサール | 11:45発 | ラブアンバジョ | 12:55着 |
| 復路：パティック航空 ID6332 | ラブアンバジョ | 09:45発 | デンパサール | 11:05着 |

| | | | | |
|----------------------|---------------------------------|--------|---------|--------|
| ②ラブアンバジョ乗船の場合 | 空港到着後、乗船港まで無料のグループ送迎をご利用いただけます。 | | | |
| ②アンボン下船の場合 | 下船後、空港まで無料のグループ送迎をご利用いただけます。 | | | |
| ＜推奨フライト (2026年3月現在)＞ | | | | |
| 往路：パティック航空 ID6331 | デンパサール | 11:45発 | ラブアンバジョ | 12:55着 |
| 復路：パティック航空 ID6171 | アンボン | 07:00発 | ジャカルタ | 08:20着 |

| | | | | |
|------------------------|---------------------------------|--------|--------|--------|
| ②アンボン乗船の場合 | 空港到着後、乗船港まで無料のグループ送迎をご利用いただけます。 | | | |
| ②ラブアンバジョ下船の場合 | 下船後、空港まで無料のグループ送迎をご利用いただけます。 | | | |
| ＜推奨フライト (2026年3月現在)＞ | | | | |
| 往路：ガルーダ・インドネシア航空 GA646 | ジャカルタ | 09:40発 | アンボン | 15:15着 |
| 復路：パティック航空 ID6332 | ラブアンバジョ | 09:45発 | デンパサール | 11:05着 |

| | | | | |
|------------------------|---|--------|-------|--------|
| ③ソロン乗船の場合 | 空港到着後、乗船港まで無料のグループ送迎、乗船開始までホテル休憩をご利用いただけます。 | | | |
| ③ソロン下船の場合 | 下船後、空港まで無料のグループ送迎をご利用いただけます。 | | | |
| ＜推奨フライト (2026年3月現在)＞ | | | | |
| 往路：ガルーダ・インドネシア航空 GA682 | ジャカルタ | 24:10発 | ソロン | 06:15着 |
| 復路：ガルーダ・インドネシア航空 GA683 | ソロン | 08:15発 | ジャカルタ | 10:10着 |

東アフリカ (セシェル・タンザニア) インド洋の隠れ家へ。少人数で巡る上質な船旅

インド洋に点在する“秘めた名場面”を少人数で巡る贅沢な航海。10万匹ものゾウガメが息づく世界遺産アルダブラ環礁から、ザンジバルの歴史香るスパイスルートまで、ダイナミックな自然と文化を繋ぎます。ナチュラルリストと共にマングローブの深部へ潜ぎ出し、アストーブの“水中のグランドキャニオン”に身を投じます。ヴァレ・ド・メの森で伝説の椰子ココ・ド・メールを探し、最後はタンザニアの古都で歴史の面影に触れます。海と陸、その両方で「外洋の濃密な生命」を体感する、究極のアドベンチャー・クルーズです。

就航客船



■アクア・ラレス

就航年月： 1974年
(2025年全面改装)
総トン数： 2,407トン
全長/全幅： 77.4メートル/13.5メートル
乗客/乗組員数： 30名/32名
船籍： マーシャル諸島



カテゴリーIV (約16~21m²)



アウトドアラウンジ



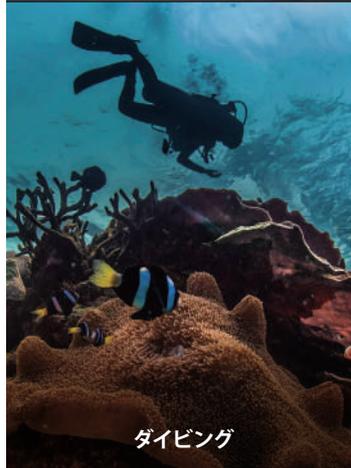
体験・アクティビティ



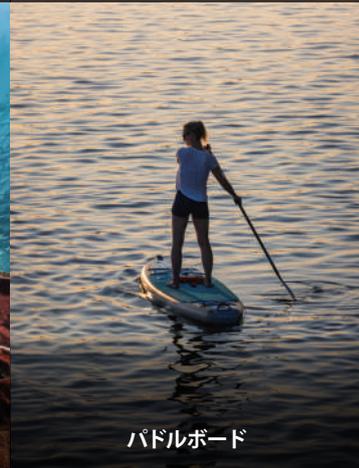
ゾウガメ



セーシェルの世界遺産



ダイビング



パドルボード



ザンジバル発/着コースではジンベイザメに会えるチャンスも

■ 運航時期：11月～4月頃

■ クルーズ代金（2026年）

| | | |
|---------|-----|-------------|
| アクア・ラレス | 5泊 | US\$9,000～ |
| | 9泊 | US\$16,200～ |
| | 10泊 | US\$18,000～ |
| | 11泊 | US\$19,800～ |
| | 14泊 | US\$25,200～ |

※早期申込割引・シングル乗船優遇（通常25%増）
プロモーションあり。

※1室2名利用時のお一人様代金

■ コース

5泊/9泊/10泊/11泊/14泊コース

| | |
|------|---|
| ①5泊 | La Digue & Seychelles' Inner Islands (マヘ発着) |
| ②9泊 | Aldabra & The Coralline Seychelles (マヘ発着) |
| ③10泊 | Tanzania & The Coralline Seychelles (ザンジバル～マヘ) |
| ④11泊 | The Coralline Seychelles & Tanzania (マヘ～ザンジバル) |
| ⑤14泊 | The Coralline Seychelles & Inner Islands (マヘ発着) |

■ 日本からのアクセスと推奨フライト

日本からはドバイ、カタールで乗継、マヘ/ザンジバルに向かうのが一般的です。
下記推奨フライトを利用する場合は、空港⇄港間の無料グループ送迎を利用可能です。

①②⑤コースの場合

<推奨フライト（2026年3月現在）>

| | | | | | |
|------------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 往路：カタール航空 | QR678 | ドーハ | 26：50発 | セイシェル | 08：30着 |
| 往路：エミレーツ航空 | EK705 | ドバイ | 26：15発 | セイシェル | 06：50着 |
| 往路：エミレーツ航空 | EK707 | ドバイ | 08：55発 | セイシェル | 13：35着 |
| 復路：エミレーツ航空 | EK708 | セイシェル | 23：50発 | ドバイ | 04：20着 |
| 復路：カタール航空 | QR679 | セイシェル | 19：30発 | ドーハ | 23：10着 |

③④コースの場合

ザンジバル乗船の場合 各自で市内ホテルへ。ホテルから港までは船会社のグループ送迎をご利用いただけます。

マヘ下船 下船後、各自で空港へ（車で約7分）

<推奨フライト（2026年3月現在）>

| | | | | | |
|---------------|--------------|----------|--------|-------|--------|
| 往路：カタール航空 | QR1487 | ドーハ | 26：10発 | ザンジバル | 08：00着 |
| 往路：エア・タンザニア航空 | TC415 | ドバイ | 04：00発 | ザンジバル | 08：40着 |
| 往路：エア・タンザニア航空 | TC136 | ダルエスサラーム | 13：00発 | ザンジバル | 13：30着 |
| 復路：上記、エミレーツ航空 | EK708、カタール航空 | QR679に同じ | | | |

マヘ乗船の場合 各自で港へ

ザンジバル下船の場合 下船後、各自で空港へ（車で約17分）

<推奨フライト（2026年3月現在）>

| | | | | | |
|---------------|--------------|----------|--------|-------|--------|
| 往路：カタール航空 | QR1487 | ドーハ | 26：10発 | ザンジバル | 08：00着 |
| 往路：エア・タンザニア航空 | TC415 | ドバイ | 04：00発 | ザンジバル | 08：40着 |
| 往路：エア・タンザニア航空 | TC136 | ダルエスサラーム | 13：00発 | ザンジバル | 13：30着 |
| 復路：上記、エミレーツ航空 | EK708、カタール航空 | QR679に同じ | | | |

北極圏（スヴァールバル諸島／ノルウェー）

最大30名の小型ラグジュアリー客船で航く北極探検

北極圏航海は、氷河フィヨルドと流氷帯の縁へ踏み込む旅です。舞台は砕氷船スーパーヨット「アクア・ラレス」で、乗客定員は最大30名。この小ささが、フットワークの軽さと体験の密度につながります。ゾディアックで海水の縁を追い、条件が合えばカヤックでも氷に近づきます。ホッキョクグマやセイウチ、パフィンなど——出会いは自然次第ですが、他船で味わうことの出来ないダイナミックな北極圏の船旅です。



体験・アクティビティ



就航客船



■アクア・ラレス

就航年月： 1974年
(2025年全面改装)
総トン数： 2,407トン
全長/全幅： 77.4メートル/13.5メートル
乗客/乗組員数： 30名/32名
船籍： マーシャル諸島



■ 運航時期：6月～9月

■ コース：5泊／7泊

7泊 | Svalbard & The Arctic Circle (ロングイェールビーン発着)

■ クルーズ代金 (2026年)

| | 7泊 |
|---------|-------------|
| アクア・ラレス | US\$14,210～ |

※早期申込割引・シングル乗船優遇 (通常25%増) プロモーションあり。

※1室2名利用時のお一人様代金

■日本からのアクセスと推奨フライト

乗下船港はスヴァールバル諸島にあるロングイェールビーン。日本からオスロを経由するのが便利です。下記推奨フライトを利用する場合は、ロングイェールビーン空港⇄港間は往復船会社手配のグループ送迎が含まれます。

<推奨フライト (2026年3月現在) >

| | | | | |
|---------------------|------------|--------|------------|--------|
| 往路：スカンジナビア航空 SK4496 | オスロ | 16:20発 | ロングイェールビーン | 19:15着 |
| 復路：スカンジナビア航空 SK4497 | ロングイェールビーン | 20:00発 | オスロ | 22:55着 |

ガラパゴス諸島 (エクアドル)

地球の原型が残る海と島

世界遺産第1号のガラパゴスは諸島は、火山がつくるダイナミックな景観と、世界でも稀な固有種の生態系が同居する場所です。

アクア・エクスペディションズでは、朝・午後の1日2回のエクスカージョンを軸に、シュノーケリング、ハイキング、カヤック、テンドー（小型艇）での上陸などの体験を重ね、ガラパゴスペンギン、ゾウガメ、イグアナといった“ここでしか見られない”生きものとの距離を縮めていきます。



体験・アクティビティ



就航客船

AQUA MARE

■アクア・マール

就航年月： 1998年1月
(2021年5月全面改装)
総トン数： 620トン
全長/全幅： 49.73メートル/9.27メートル
乗客/乗組員数： 16名/16名
船籍： エクアドル



客船の詳細はQRコードで>



■ 運航時期： 通年

■ コース： 7泊 / 14泊

| | |
|-----|---|
| ①7泊 | East Galapagos Expedition (バルトラ島～サンタクルズ島) |
| ②7泊 | West Galapagos Expedition (サンタクルズ島～バルトラ島) |

※14泊は①+②の連続乗船 (バルトラ島発着)

■ クルーズ代金 (2026年)

| | 7泊 | 14泊 |
|---------|-------------|-------------|
| アクア・マール | US\$11,550～ | US\$21,980～ |

※早期申込割引・シングル乗船優遇 (通常75%増) あり。

※1室2名利用時のお一人様代金

■ 日本からのアクセスと推奨フライト

玄関口はエクアドルのキト。キトから下記推奨フライト利用時は、ガラパゴス・セイモア空港⇄港間は往復船会社手配のグループ送迎が含まれます。

<推奨フライト (2026年3月現在) >

往路：ラタム航空 LA1415 キト 08:50発 ガラパゴス・セイモア 11:28着 (グアヤキル経由)

復路：ラタム航空 LA1410 ガラパゴス・セイモア 09:55発 キト 14:21着 (グアヤキル経由)

海外個人クルーズ旅行のススメ

海外クルーズ旅行は個人旅行・自由旅行の時代です。グアムやハワイに行くようにお気軽に個人クルーズ旅行を楽しめます。もともとクルーズは、パッケージ商品の設定数が少なく、アクア・エクスペディションズは、日本人乗客数の大半が個人旅行で楽しられています。そして、今新しいクルーズのカタチとして、ますます個人クルーズ旅行が注目されています。



個人手配クルーズ旅行のメリット

- ① コースの選択肢が豊富**
豊富なラインアップの中から自分好みのコースをお選びいただけます。iCruiseサイトでは、行きたいエリア・寄港地、時期、期間、ご予算、乗船したい船などから複合的に検索が可能です。
- ② ツアーキャンセルの心配がありません**
パッケージツアーにありがちな最少催行人員割れによる催行中止の心配がありません。基本的に「予約完了=出発決定」です。
- ③ クルーズ旅行はシンプル手配**
クルーズはあご（食事）、あし（交通機関）、まくら（宿泊）が揃った周遊型の旅のスタイルです。1度の予約で3要素の手配が完了してしまいます。あとは航空券を手配するだけ。非常にシンプルです。
- ④ お好きな客室が選べます**
様々な客室タイプからお好みの客室を自由に選択可能です。
- ⑤ 上質なクルーズをお得に乗船**
クルーズ代金は、予約の時期や空室状況により代金が変動する「変動相場制クルーズ代金」です。その他「早期予約割引」、「リピーター割引」、「シングル参加キャンペーン」など様々な割引プロモーションがあります。うまく利用すれば、パッケージ代金よりお得に楽しめます。
- ⑥ 自分好みのパターンで自在にアレンジ**
クルーズだけを予約されたい方も、すべてトータルでご予約されたい方、グループ旅行をご検討中の方、自分たちだけの添乗員を手配してほしい方も自在にアレンジが可能です。

真のラグジュアリー、アクア・エクスペディションズを満喫するなら

iCruise

**アクア
エクスペディションズ
日本地区正規販売代理店**

iCruiseは、アクア・エクスペディションズの日本地区正規販売代理店です。

**クルーズスペシャリスト
によるiCruise
コンサルティング**

iCruiseのクルーズ・マスター&コンシェルジュは、クルーズの販売・乗船経験も豊富なクルーズの超エキスパートです。

**個人自由旅行を提供する
高級クルーズ専門デスク**

ラグジュアリークラスをメインに取扱う専門スタッフが、お客様一人一人に合った個人クルーズ旅行をサポートいたします。

ラグジュアリーをお得に

iCruiseのWEB及び予約システムは船会社システムと連携。変動制のクルーズ代金、プロモーションにも対応しています。

**iCruiseオリジナル
乗船クルーズガイドブック**

iCruiseでご予約いただいたお客様には、最終案内にiCruiseオリジナル日本語の「乗船クルーズガイドブック」をお送りします。

**お申込み・問合せ
個人自由旅行を提供する高級クルーズ専門デスク
iCruise (アイ・クルーズ)**

株式会社ICM 〒104-0061 東京都中央区銀座8-17-5 THE HUB 銀座OCT
※ご来店による対応スペースのご用意はございません。お問合せはメールまたはお電話をお願いいたします。

Mail: contact@icm-i.co.jp
TEL: 03-6773-9011 FAX: 03-6685-2877
営業時間: 平日09:30~18:00 (土日祝日・年末年始休業)

<https://www.icruises.jp>

🔍 **アイ・クルーズ** で検索



iCruise

iCruiseメルマガ会員 (無料) 募集中!

お得でスペシャルな最新情報をお届けします。
会員限定の特集コンテンツも盛り沢山!

iCruiseメルマガ会員登録はこちら:
<https://www.icruises.jp/p/mmform>



運航会社: **AQUA EXPEDITIONS**
(アクア・エクスペディションズ)
日本地区正規販売代理店: **iCruise**



AQUA EXPEDITIONS



東京都知事登録旅行業: 第3-6448号 総合旅行業務取扱管理者: 菅谷 孝幸
総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にお尋ねください。